



●『新時代』心をもやせ！史上最高の舞台をつくりだせ！

10月4日に小坂小学校学習発表会を開催しました。1年生代表による「はじめのことば」で開幕した後は、スクールバンド部による演奏で盛り上がりました。そして、各学年が創意とユーモアのある演出で、今年度学習してきたことや学校生活で活動してきたことを発表しました。また、クラブ活動の代表が活動内容を紹介し、大太鼓クラブが実演しました。



〈小6年生による劇〉

最後は全校合唱「ふるさと」でクライマックスを迎え、6年生代表の堂々とした挨拶で会を締めくくりました。全校児童が自分の役割に一生懸命取り組み、みんなで創り上げた最高の舞台でした。

●「愛創一心～支えアイ・思いアイ・愛しアイ！～」



〈中3年生による合唱〉

10月5日に「坂中祭」を開催しました。全校生徒が実行委員会、ビッグアート・展示、劇、ONEの4つの部門でテーマを表現しようと準備し、さまざまな「アイ」が溢れる坂中祭になりました。1年生は白神体験センターの校外学習で学んだことを、2・3年生は3グループに分かれて、再発見した小坂町の魅力や地域の方々とのふれあいを通して考えた町の未来を、愛情たっぷりに発表しました。また、全国コンクールに出場する吹奏楽部の演奏や英語暗唱・弁論、学級一丸となって取り組んだ合唱コンクールが、坂中祭に花を添えました。

●小中一緒に食べたよ 合同給食

ふだんは校時表が異なるため、なかなか実施することが難しいのですが、10月8日に小・中合同の給食委員会企画として実施しました。学習発表会や坂中祭、学校生活の様子などを話題に、小中学生が顔を合わせて給食を食べました。少し照れながらも、和気あいあいと交流することができました。



■お問い合わせ先 小坂小学校(TEL29-2422) 小坂中学校(TEL29-3232)



十和田湖からセントローレンス川へ

小坂町で過ごした時間の中で、最も印象に残っている体験の一つは十和田湖を訪れたことです。広く静かな湖面と、周りの森の景色はとても美しく、心に残りました。この湖で生息するヒメマスについて学んだことも、とても興味深いものでした。ヒメマスのことを知ることで、この土地の自然をより身近に感じることができました。

そのつながりを感じたまま、私の故郷であるケベック州に思いを向けました。そこにはセントローレンス川があり、この地域の風景を形づくっています。十和田湖と同じように、美しい景色と多様な野生生物が見られます。夏になると、クジラがエサを求めてこの川にやってきます。その中には、地球上で最も大きい動物といわれるシロナガスクジラも見られます。

自然の美しさだけでなく、この川には歴史的な魅力もあります。1535年には、フランスの探検家ジャック・カルティエがこの川を航行し、後にケベック・シティとなる場所に到達しました。これはカナダで最初にヨーロッパ人によって探検された地域であり、この川が新しい世界への入り口となりました。

現在も、セントローレンス川はセントローレンス海路を通じて重要な交通路となっています。船はアメリカのミネソタ州まで内陸を航行し、北アメリカの主要な都市をつなげています。冬になると川の一部が凍結しますが、砕氷船が航路を維持します。また、ケベック・シティ周辺では潮汐(しおの満ち引き)が特に強く、川の流れや船の運航に大きな影響を与えています。

十和田湖で感じた自然とのつながりは、セントローレンス川でも同じように感じられます。皆さんが十和田湖を見たとき、どんなことを思い浮かべますか。